

平成30年度の取組状況

1 教育・保育施設への入所状況

■平成30年度

市全域		1号認定	2号認定①	2号認定②	3号認定	
		3歳以上教育		3歳以上保育	1～2歳保育	0歳保育
見 込 量	認定こども園、保育所	449		267	168	79
	認定こども園、幼稚園					
	合計①	449		267	168	79
確 保 方 策 (提 供 量)	特定教育・保育施設			267	168	79
	確認を受けない幼稚園	565				
	認可外保育施設					
	合計②	565		267	168	79
②－①		116		0	0	0
入所者数	4月	442		255	146	22
	2月	448		263	157	56

※参考

■平成27年度

市全域		1号認定	2号認定①	2号認定②	3号認定	
		3歳以上教育		3歳以上保育	1～2歳保育	0歳保育
見 込 量	認定こども園、保育所	429		241	176	71
	認定こども園、幼稚園		160			
	合計①	589		241	176	71
確 保 方 策 (提 供 量)	特定教育・保育施設			250	176	71
	確認を受けない幼稚園	565				
	認可外保育施設			15		
	合計②	565		265	176	71
②－①		△24		24	0	0
入所者数	4月	526		270	138	14
	2月	529		279	173	53

■平成 28 年度

市全域		1 号認定	2 号認定①	2 号認定②	3 号認定	
		3 歳以上教育		3 歳以上保育	1 ～ 2 歳保育	0 歳保育
見 込 量	認定こども園、保育所	387		218	180	69
	認定こども園、幼稚園		145			
	合計①	532		241	180	69
確 保 方 策 (提 供 量)	特定教育・保育施設			250	180	69
	確認を受けない幼稚園	565				
	認可外保育施設					
	合計②	565		250	180	69
②－①		33		32	0	0
入 所 者 数	4 月	471		259	150	20
	2 月	482		275	163	58

■平成 29 年度

市全域		1 号認定	2 号認定①	2 号認定②	3 号認定	
		3 歳以上教育		3 歳以上保育	1 ～ 2 歳保育	0 歳保育
見 込 量	認定こども園、保育所	373		210	174	67
	認定こども園、幼稚園		139			
	合計①	512		210	174	67
確 保 方 策 (提 供 量)	特定教育・保育施設			250	174	67
	確認を受けない幼稚園	565				
	認可外保育施設					
	合計②	565		250	174	67
②－①		53		40	0	0
入 所 者 数	4 月	453		278	142	19
	2 月	459		287	159	48

2 地域子ども・子育て支援事業

(1) 利用者支援事業

○事業内容

子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業

○実績

(単位：箇所)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
確保量	3	3	3	3	3
実績	3	3	3	4	

<H30年度実績コメント>

- ・ H30.10月より、子育て応援課が保健センター内に移動し、「子育て世代包括支援センター事業」を開始。基本型・母子保健型の利用者支援事業を活用し、それぞれ専任のコーディネーターを配置し、妊娠期から子育て期まで、切れ目のない支援を円滑に利用するための支援を行った。
- ・ 子育て支援部門と、母子保健部門が同一の施設内に配置されたことから、相談対応・情報共有がより効率的に行われるようになった。

コーディネーター相談実績（平成30年10月～平成31年2月末現在）

①母子保健コーディネーター

・ 妊婦面接数

母子健康手帳交付時 108名、妊娠中期 85名 計 193名

・ 支援プラン作成人数 23名

・ 母子保健関係来所相談数 24名

②子育て支援コーディネーター（延人数）

	相談件数			相談内訳(重複)			
	来所	電話	計	傾聴	情報提供	関係機関 連絡	育児方法 伝達
子育て関係の 相談	28	1	29	16	21	15	0
母子保健コー ディネーター から紹介	22	0	22	10	8	5	0
児童福祉窓 口から紹介	8	0	8	2	2	6	1
計	58	1	59	28	31	26	1

(2) 地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター事業）

○事業内容

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業

○実績

（単位：人回・箇所）

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
見込量		1,848	1,851	1,787	1,728	1,672
確保量（箇所数）		3	3	3	3	3
実績	利用者数	9,723	6,022	5,864	4,804	
	実施箇所	3	2	2	2	

※30年度の数値は、H30は2月末現在

<H30年度実績コメント>

- ・新規事業について・・・H30年度より、新規事業を実施
 - 土曜日開放事業・・・月に1回、土曜日に子育て支援センターを開放し、自由に利用。
 - にこにこランチ・・・月に1回、お弁当を持ち寄り、子育て支援センターで食事をしながら交流
 - 転入者支援事業・・・年2回、滝川に転入してきた親子を対象に、子育て情報の提供や交流事業を行う。
 - おいでようすぐママさん
 - ・・・毎月実施している0歳児ライブラリーを妊婦さんも参加可能とし、交流する。

(3) 妊婦健康診査

○事業内容

妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業

○実績

（単位：人・回）

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
見込量（人数）		280	260	260	260	260
見込量（回数）		3,920	3,640	3,640	3,640	3,640
確保量		3,920	3,640	3,640	3,640	3,640
実績	受診者数	292	287	272	229	
	受診回数合計	3188	2892	3336	2416	

※30年度の数値は、平成31年2月末現在

<H30年度実績コメント>

- ・一人14回分の妊婦一般健康診査と6回分の超音波検査の費用を助成。
- ・妊婦の健康管理意識の向上、特定妊婦の把握および支援につながっている。
- ・未受診の妊婦には、産科医療機関と連携を取りながら受診勧奨を実施している。

(4) 乳児家庭全戸訪問事業

○事業内容

生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業

○実績

(単位：人・%)

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
見込量		243	235	226	220	213
確保量		250	250	250	250	250
実績	訪問乳児	270	275	242	177	
	割合	97.1	94.5	96.8	88.5	

※30年度の数値は、平成31年2月末現在

<H30年度実績コメント>

- 健康づくり課保健師が新生児全戸訪問を実施し、第2子目以降については、子育て支援センター保育士2人及び行政パートナーである支援員14人が2人体制で生後3～4か月に訪問を実施している。
- 虐待の未然予防、家庭教育支援による不適切な育児の減少、行政パートナーの参加による乳児家庭と地域の結びつきの強化などの実施効果がある。

(5) 養育支援訪問事業

○事業内容

養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業

○実績

(単位：人)

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
見込量		24	24	23	22	21
確保量		25	25	25	25	25
実績		実11 延27	実12 延22	実16 延43	実12 延30	

※平成30年度の数値は、平成31年2月末現在

<H30年度実績コメント>

- 新生児訪問や医療機関からの養育支援報告により把握したケースのうち、継続支援を要する家庭に訪問等を実施している。
- 子育て世代包括支援センターが開設に伴い、専用相談室ができたことから、訪問での支援につながりにくいケースは来所相談に勧奨しやすくなり、来所面談で支援している。
- 今後も、養育支援が必要な家庭の把握に努め、事業の利用につなげる。

(6) 子育て短期支援事業

○事業内容

保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業（短期入所生活援助事業（ショートステイ事業）及び夜間養護等事業（トワイライトステイ事業））

○実績

（単位：人日）

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
見込量	0	0	0	0	0
確保量	0	0	0	0	0
実績	0	0	0	0	

<H30年度実績コメント>

- ・対象となる施設、ニーズがなく、未実施

(7) ファミリー・サポート・センター事業（子育て援助活動支援事業）

○事業内容

乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業

○実績

（単位：人回）

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
見込量	195	191	187	185	176
確保量	331	331	331	331	331
実績	367	195	307	340	

※30年度の数値は、H31.2末現在

<H30年度実績コメント>

- ・H30.10に事務室を保健センター内に移動。
来所した親子の相談を受ける中で、利用についての周知がしやすくなったため、登録人数、利用数が伸びた。
- ・提供会員の伸び悩みが課題。

(8) 一時預かり事業

○事業内容

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業

○実績

(単位：人日)

(保育所)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
見込量	16,307	15,573	15,009	14,404	14,164
確保量	17,700	17,700	17,700	17,700	17,700
実績	1,999	2,463	2,304	2,323	

(単位：人日)

(幼稚園)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
見込量(1号認定)	1,599	1,447	1,394	1,325	1,328
〃(2号認定)	41,471	37,520	36,153	34,362	34,443
確保量(延べ人数)	43,200	43,200	43,200	43,200	43,200
実績	20,089	19,948	18,986	15,683	

※30年度の数値は、H31.2末現在

(9) 時間外(延長)保育事業

○事業内容

保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、認定こども園、保育所等において保育を実施する事業

○実績

(単位：人)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
見込量	328	313	300	289	285
確保量	390	390	390	390	390
実績	128	110	113	104	

※30年度の数値は、H31.2末現在

(10) 病児保育事業

○事業内容

病児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等する事業

○実績

(単位：人日)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
見込量	549	522	503	482	474
確保量	1,180	1,180	1,180	1,180	1,180
実績	23	16	11	4	

※30年度の数値は、H31.2末現在

<H30年度実績コメント>

- ・滝川中央保育所で病後児保育を実施
- ・平成28年度から、新十津川保育所からの広域受け入れ開始（別途負担金あり）

(11) 放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）

○事業内容

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業

○実績

(単位：人)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
見込量	301	294	284	279	256
確保量	300	300	300	300	300
実績	登録者数	342	366	348	364
	平均利用者数	173	192	185	190

※30年度の数値は、H31.2時点の実績を記載。

<H30年度実績コメント>

- ・花月地区、東地区、北地区については、1～3年生を優先し、4～6年生及び申込期間以降に申し込んだ1～3年生については、待機登録とした。（30年4月末で1年生3人、4年生2人の計11人いたが、待機登録の1年生3人は9月末までに利用可能となった。他は6名留守家庭登録の利用）

(12) 実費徴収に係る補足給付を行う事業

○事業内容

保護者の世帯所得の状況等を勘案して、特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用等を助成する事業

○実績

- ・未実施
- ・国、近隣地域の動向を見ながら、必要に応じて検討する。

(13) 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

○事業内容

特定教育・保育施設等への民間事業者の参入の促進に関する調査研究その他多様な事業者の能力を活用した特定教育・保育施設等の設置又は運営を促進するための事業

○実績

- ・ 未実施
- ・ 国、近隣地域の動向を見ながら、必要に応じて検討する。